

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社卑弥呼

コード番号 9892 URL <http://www.himiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柴田 一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 販売本部長兼管理本部長 兼経営企画部担当 (氏名) 瀬川 岳則

TEL 03-5485-3711

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,198	5.6	444	4.8	490	4.8	297	4.2
24年3月期第2四半期	3,027	—	423	—	468	—	285	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	38.47	—
24年3月期第2四半期	36.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	14,947	13,660	91.4	1,768.43
24年3月期	14,763	13,747	93.1	1,779.69

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 13,660百万円 24年3月期 13,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,550	0.2	595	△15.7	661	△14.4	390	△14.0	50.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成24年11月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	12,984,233 株	24年3月期	12,984,233 株
25年3月期2Q	5,259,443 株	24年3月期	5,259,493 株
25年3月期2Q	7,724,772 株	24年3月期2Q	7,724,986 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、先の東日本大震災の復興需要等により緩やかな景気回復基調にありましたが、欧州の債務危機や長引く円高、新興国の景気後退による世界的な景気減速への懸念、消費税増税等の新たな負担増による生活不安の問題が取り沙汰されるなど、個人消費は低調に推移し、景気の先行き不透明感は一層深刻化している状況であります。

当社が属する婦人靴業界におきましては、お客様の趣味趣向・ライフスタイルの多様性と節約志向により、ブランド事業の更なる淘汰と差別化、商品の低価格化などが一層顕著となり、競争激化は増すばかりの厳しい状況が続いております。

このような厳しい状況下において、主要事業である靴事業で当社ブランドの総合力を発揮するための施策として、全国主要百貨店とタイアップした期間限定催事の実施、WEBチャネルの拡大、衝撃吸収と血行を促進するwater massageインソールの研究開発を行いました。さらに、多様なお客様ニーズに対応するため、外部機関を活用したマーケティングリサーチを行い、ブランドポートフォリオの再構築に着手いたしました。また、社内情報システム投資による業務効率化や、社員比率の改善など人時生産性の向上を含めた販管費のコントロール強化と抑制にも注力してまいりました。しかしながら、当社の事業領域において、夏場からの記録的な猛暑が長引くなど、天候不順に見舞われた影響が、第3四半期以降の業績に大きな影を落とすつつある状況です。

このような厳しい経営環境ではありますが、中長期的な視点に立った施策として以下の新たな取り組みを行っております。

①卑弥呼BLACKパンプスプロジェクト

百貨店婦人靴売り場に特設会場を設けて、1～2週間程度の期間限定で主力ブランドの黒パンプスをキャラバン販売する企画。『就活美人』（就活やインターンシップ）、『仕事美人』（お仕事やオフィス用）、『礼装美人』（冠婚葬祭等のフォーマルシーン）と銘打って、お客様のオカージョン別ニーズの集中的な掘り起こしを行う。

②Webマーケティングの導入

当社のブランドの認知とその価値を特に若年層のお客様に「知っていただく」ため、専用サイトを立ち上げ、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）と連動した販売促進によりWeb上で集客を行い、リアル店舗及びEC店舗へお客様を誘導する。

このような取り組みの結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,198百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益は444百万円（前年同四半期比4.8%増）、経常利益は490百万円（前年同四半期比4.8%増）、四半期純利益は297百万円（前年同四半期比4.2%増）となり、増収増益を確保できましたものの、当第2四半期累計期間の当初計画は未達に終わりました。

なお、当第2四半期累計期間の店舗出退店数は、出店7店舗、退店4店舗となっており、当第2四半期会計期間末の店舗数は121店舗となりました。

当社は、第3四半期以降も挑戦的な事業計画を策定し、その目標達成に向け全員一丸となって取り組んでおりますが、当社が置かれている厳しい経営環境を真摯に受け止め、ブランドビジネスの「創造と破壊」を実践するべく、中期経営計画の見直しを行う予定であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度に比べ183百万円増加し、14,947百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少485百万円、受取手形及び売掛金の増加251百万円、商品の増加171百万円、投資有価証券の増加316百万円等によるものであります。

負債につきましては、前事業年度に比べ270百万円増加し、1,286百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加168百万円、返品調整引当金の増加109百万円等によるものであります。

また、純資産につきましては、前事業年度に比べ86百万円減少し、13,660百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少89百万円等によるものであります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは250百万円の収入（前年同四半期比40百万円減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益479百万円、減価償却費53百万円、引当金の増加130百万円、売上債権の増加251百万円、たな卸資産の増加168百万円、仕入債務の増加168百万円、法人税等の支払額169百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは336百万円の支出（前年同四半期比1,834百万円減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出314百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは401百万円の支出（前年同四半期比191百万円増加）となりました。これは主に、配当金の支払額384百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当社を取り巻く厳しい市場環境等を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,895,029	3,409,157
受取手形及び売掛金	492,938	744,886
有価証券	2,700,000	2,700,000
商品	298,903	470,598
繰延税金資産	47,674	47,674
その他	100,255	112,120
流動資産合計	7,534,801	7,484,437
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	246,059	228,754
土地	1,099,220	1,099,220
その他(純額)	45,381	32,972
有形固定資産合計	1,390,661	1,360,948
無形固定資産		
借地権	1,146,966	1,146,966
その他	46,212	33,161
無形固定資産合計	1,193,179	1,180,128
投資その他の資産		
投資有価証券	1,351,032	1,667,256
長期預金	2,200,000	2,200,000
繰延税金資産	82,010	80,797
敷金及び保証金	484,655	460,568
役員に対する保険積立金	435,425	435,425
その他	91,598	77,510
投資その他の資産合計	4,644,722	4,921,558
固定資産合計	7,228,563	7,462,635
資産合計	14,763,364	14,947,072

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,014	404,834
未払金	110,340	108,364
未払法人税等	172,284	186,748
賞与引当金	43,000	55,636
返品調整引当金	20,000	129,180
ポイント引当金	15,510	12,720
その他	93,610	73,145
流動負債合計	690,759	970,629
固定負債		
退職給付引当金	109,210	115,131
役員退職慰労引当金	132,563	137,999
資産除去債務	40,866	36,853
その他	42,295	25,740
固定負債合計	324,936	315,723
負債合計	1,015,695	1,286,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,589,052	2,589,052
資本剰余金	2,718,862	2,718,862
利益剰余金	16,568,083	16,479,011
自己株式	△7,118,387	△7,118,346
株主資本合計	14,757,611	14,668,580
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△52,825	△50,743
土地再評価差額金	△957,116	△957,116
評価・換算差額等合計	△1,009,942	△1,007,860
純資産合計	13,747,669	13,660,719
負債純資産合計	14,763,364	14,947,072

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,027,162	3,198,029
売上原価	1,419,254	1,606,873
売上総利益	1,607,907	1,591,155
販売費及び一般管理費	1,183,965	1,146,978
営業利益	423,942	444,176
営業外収益		
受取利息	5,570	7,618
受取手数料	27,123	30,271
その他	12,533	8,249
営業外収益合計	45,228	46,139
営業外費用	1,146	—
経常利益	468,024	490,316
特別利益		
関係会社株式売却益	30,000	—
特別利益合計	30,000	—
特別損失		
減損損失	10,894	9,149
投資有価証券評価損	—	1,400
特別損失合計	10,894	10,549
税引前四半期純利益	487,130	479,766
法人税等	202,048	182,602
四半期純利益	285,081	297,164

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	487,130	479,766
減価償却費	62,253	53,484
関係会社株式売却損益(△は益)	△30,000	—
減損損失	10,894	9,149
引当金の増減額(△は減少)	34,316	130,383
受取利息及び受取配当金	△9,782	△12,021
売上債権の増減額(△は増加)	△286,550	△251,947
たな卸資産の増減額(△は増加)	74,432	△168,702
仕入債務の増減額(△は減少)	15,371	168,819
その他	26,909	1,566
小計	384,974	410,498
利息及び配当金の受取額	7,109	8,638
法人税等の支払額	△101,656	△169,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,427	250,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,523,406	△2,361
定期預金の払戻による収入	2,500,000	—
有価証券の取得による支出	△4,200,000	—
有価証券の売却による収入	1,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,002	△4,860
敷金及び保証金の差入による支出	△159	△215
敷金及び保証金の回収による収入	26,060	10,067
投資有価証券の取得による支出	—	△314,466
関係会社株式の売却による収入	30,000	—
その他	△1,959	△25,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,171,466	△336,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△193,522	△384,851
その他	△16,657	△16,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,179	△401,366
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,091,218	△488,233
現金及び現金同等物の期首残高	2,386,280	870,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	295,062	382,008

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は靴製品等卸・小売事業のほか、不動産賃貸事業を行っておりますが、靴製品等卸・小売事業の売上高及び営業利益の金額が、いずれも事業セグメントの合計額の90%を超え、報告セグメントは当該事業のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。